

日本哲学史研究

第 8 号

和辻哲郎の戦後思想

高橋 文博……一

個性の円成——和辻哲郎「心敬の連歌論について」を読む——

田中 美子……四四

「存在と無の同一」としての「生成」の意味をめぐる

——西田によるヘーゲル生成論批判の妥当性と意義——

熊谷 征一郎……七三

《書評》井上克人著『西田幾多郎と明治の精神』

水野 友晴……九九

2011年7月

京都大学大学院文学研究科
日本哲学史研究室紀要

『日本哲学史研究』バックナンバー目次

第一号

藤田正勝「和辻哲郎「風土」論の可能性と問題性」

伊藤徹「幻視された「自己」」

ブレット・デービス「退歩と邂逅——西洋哲学から思索的対話へ——」

杉本耕一「西田哲学の「転回」と「歴史哲学」の成立」

第二号

平田俊博「日本語の七層と現象学的優位——日本語で哲学する——（前）」

古東哲明「臨生する精神——日本人の他界観——」

宮野真生子「美的生活の可能性と限界——柳宗悦「第三の道」とは何か——」

藤田正勝「西田哲学と歴史・国家の問題」

第三号

片柳榮一「アウグスティヌスと西田幾多郎」

林鎮国「西谷啓治——空と歴史的意識をめぐって——」

岡田勝明「日本思想における二重言語的空間——西田幾多郎の場合——」

ステフェン・デル「真の自己の否定性

——上田閑照の「自己ならざる自己」の現象学——」

第四号

清水正之「哲学と日本思想史研究

——和辻哲郎の解釈学と現象学のあいだ——」

藤田正勝「西田幾多郎の国家論」

杉本耕一「歴史的世界における制作の立場

——後期西田哲学の経験的基盤——」

ジェラルド・クリントン・ゴダール「コケムシから哲学まで

——近代日本の「進化論・生物学の哲学」の先駆者としての丘浅次郎——」

《書評》高坂史朗

藤田正勝著『西田幾多郎—生きることと哲学』

第五号

岡田宏弘「西谷啓治における「科学と宗教」の現代的意義

——生命科学の危機的な諸問題を前にして——

黄文宏「西田幾多郎の宗教的世界の論理

——新儒家の宗教観との比較を兼ねて——

シルヴァン・イザク「西谷における自他関係の問題」

守津隆「西田哲学批判としての「種の論理」の意義」

ダニエラ・ヴァルトマン「「絶対無」としての「絶対的生」とは何か

——ミシェル・アンリと仏教あるいは田辺元との対話——

第六号

伊藤徹「過去への眼差し——『硝子戸の中』の頃の夏目漱石——」

上原麻有子「翻訳と近代日本哲学の接点」

城阪真治「下村寅太郎の科学的認識論

——表現作用としての「実験的認識」について——

日高明「中期西田哲学における質料概念の意義」

濱太郎「西田における形の生命論」

第七号

米山 優「モノドロロジーを創造的なものにするこ

——〈モノドロジックでポリフォニックな日本の哲学〉に向けて——

細谷昌志「『マラルメ覚書』と「死の哲学」——田辺哲学の帰趨——」

林晋「数理哲学」としての種の論理

——田辺哲学テキスト生成研究の試み(一)——

呉光輝「西田哲学と儒学との「対話」

杉本耕一「京都学派の仏教的宗教哲学から「倫理」へ」

執筆者

高橋文博

宮野美子

熊谷征一郎

水野友晴

岡山大学文学部教授

相愛大学非常勤講師

京都大学国際交流センター非常勤講師

京都大学文学研究科非常勤講師

日本哲学史研究 第八号

二〇一一年七月一五日印刷
二〇一一年七月二〇日発行

発行者

京都大学大学院文学研究科

日本哲学史研究室
京都市左京区吉田本町

印刷所

藤原製本株式会社
京都市西京区牛ヶ瀬新田泓町六

STUDIES
IN
JAPANESE PHILOSOPHY

NIHON TETSUGAKUSHI KENKYU

Vol. 8

July, 2011

Watsuji Tetsuro's Thought in the Postwar Period

• • • • • TAKAHASHI Fumihiko

*The Maturation of Individuality: An Introduction to Watsuji's
Essay "On Shinkei's View of Renga" • • • TANAKA Yoshiko*

*"Becoming" as a "Unity of Being and Nothing": The Validity
and Significance of Nishida's Criticism of Hegel's Theory of Be-
coming • • • • • KUMAGAI Seiichiro*

« *Book Review* » *INOUE Katsuhito, Nishida Kitaro and the
Ethos of the Meiji Era • • • • • MIZUNO Tomoharu*

DEPARTMENT OF JAPANESE PHILOSOPHY
GRADUATE SCHOOL OF LETTERS
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto, Japan